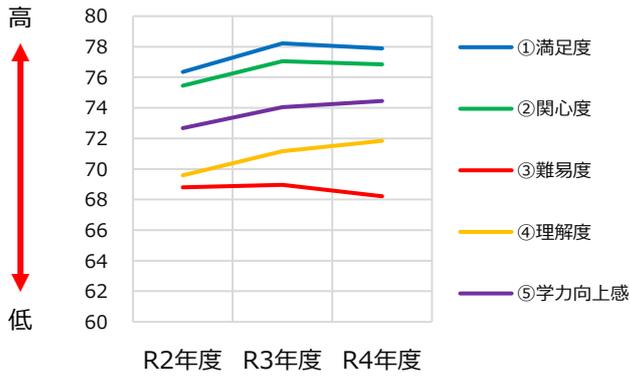


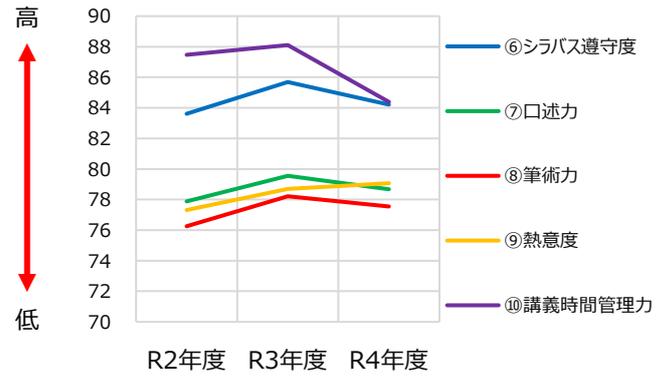
八戸工業大学 授業評価結果全学平均値（経年変化）

授業評価アンケート（設問①～⑤）



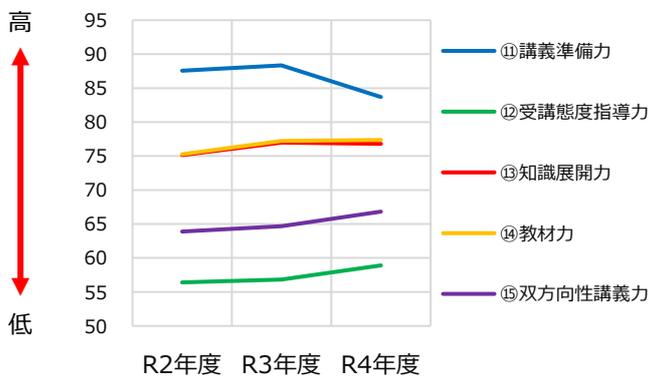
| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|------|------|------|------|------|------|
| R2年度 | 76.3 | 75.4 | 68.8 | 69.6 | 72.7 |
| R3年度 | 78.2 | 77.0 | 69.0 | 71.2 | 74.0 |
| R4年度 | 77.9 | 76.8 | 68.2 | 71.8 | 74.4 |

授業評価アンケート（設問⑥～⑩）



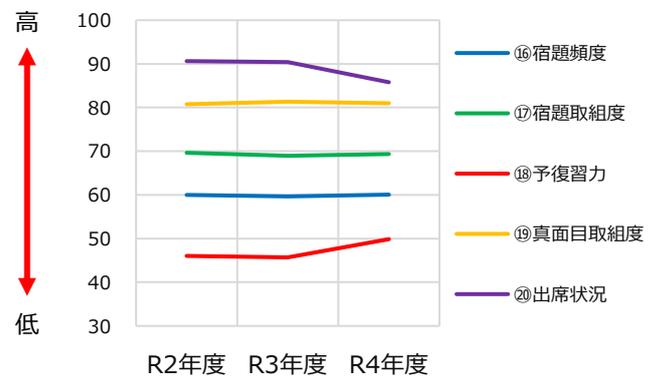
| | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
|------|------|------|------|------|------|
| R2年度 | 83.6 | 77.9 | 76.3 | 77.3 | 87.5 |
| R3年度 | 85.7 | 79.6 | 78.2 | 78.7 | 88.1 |
| R4年度 | 84.2 | 78.7 | 77.6 | 79.1 | 84.4 |

授業評価アンケート（設問⑪～⑮）



| | ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ |
|------|------|------|------|------|------|
| R2年度 | 87.6 | 56.4 | 75.1 | 75.3 | 63.9 |
| R3年度 | 88.4 | 56.8 | 77.0 | 77.3 | 64.7 |
| R4年度 | 83.7 | 58.9 | 76.8 | 77.4 | 66.8 |

授業評価アンケート（設問⑯～⑳）



| | ⑯ | ⑰ | ⑱ | ⑲ | ⑳ |
|------|------|------|------|------|------|
| R2年度 | 60.0 | 69.6 | 46.0 | 80.8 | 90.6 |
| R3年度 | 59.7 | 69.0 | 45.7 | 81.3 | 90.4 |
| R4年度 | 60.1 | 69.4 | 49.9 | 81.0 | 85.8 |

H24年度より全科目を対象に授業評価アンケートを実施し、これまでアンケートの設問内容・表現の改善、設問数の増加、さらにH25年度に一部のアンケートの設問及び回答の内容の改善を重ね、R4年度も同様のアンケート形式にて授業評価を行った。ここでは、R2～R4年度の各設問の平均値を比較するとともに、R4年度の授業評価についての傾向をまとめる。

まず、グラフから読み取れるようにR2年度の授業評価結果に対し、R3年度は複数の項目が上昇しているが、R4年度になると一部の項目で減少傾向が認められる。特に⑥シラバス遵守度、⑦口述力、⑧筆術力、⑩講義時間管理力、⑳出席状況などの項目が減少していることが分かる。これらの要因について科目レベルの点検により分析するとともに、改善策の検討が望まれる。一方、④理解度や⑤学力向上感、⑭教材力、⑱予復習力は依然として上昇傾向が続いている。これは大学教育再生加速プログラムを起点として全学的に進めてきた授業時間外学習の取組強化などが一因と推察される。

また、⑫受講態度指導力と⑮双方向性講義力も継続的に上昇している。受講生の多い科目は受講態度の指導や双方向性の授業を行う事が必然的に難しくはなるが、それでも創意工夫を通じて授業改善を模索した結果であると考えられる。今後も設問の一部にある自由記述欄に書かれた授業に対する学生の率直な意見などを含め、毎年実施している授業評価アンケートの結果を授業改善や教育改善につなげていきたい。